

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年2月13日

上場会社名 川岸工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5921 URL <http://www.kawagishi.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金本秀雄
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 影山浩一 (TEL) 04-7143-1331
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	5,763	8.3	△10	—	65	△88.4	103	△69.6
2022年9月期第1四半期	5,323	16.7	488	△39.0	568	△32.9	341	△46.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	35.73	—
2022年9月期第1四半期	117.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	31,215	25,650	82.2
2022年9月期	30,766	25,718	83.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 25,650百万円 2022年9月期 25,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	△6.3	400	△57.5	480	△55.1	335	△51.2	115.58
通期	21,000	△4.8	750	△39.6	900	△38.6	630	△33.8	217.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年9月期1Q	3,000,000株	2022年9月期	3,000,000株
2023年9月期1Q	101,467株	2022年9月期	101,467株
2023年9月期1Q	2,898,533株	2022年9月期1Q	2,891,647株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(企業結合等関係)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	7
受注及び売上の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、行動制限緩和による経済活動の正常化が進み、景気を下支えしました。一方で、世界的な金融引き締めは継続され、米国経済の先行き悪化懸念は強く、日米株価は下落しました。なお、急激な円安は日銀の政策修正を受け収まったものの、物価上昇基調は止まらず、景気の先行きに対しては慎重な見方が大勢を占めております。

当業界におきましては、鉄骨需要は昨年度からほぼ水準で推移しており、全体としては堅調ではあるものの、需要の中心は都市部の大型工事案件となっております。また、中小案件は、原材料や人件費の高騰などの影響により、先延ばしや中止が散見されるなど、影響が出始めております。エネルギー価格および、鋼材、副資材の原材料価格は、引続き高水準で推移しており、難航するゼネコンとの価格交渉と、メーカー、流通筋の値上げ姿勢に挟まれ、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社は受注活動に鋭意努力しましたが、当第1四半期の受注高は、前年同四半期比66.9%減の2,667百万円となりました。売上高は、前年同四半期比8.3%増の5,763百万円となりました。

損益面については、鋼材価格やエネルギー関連の高騰の影響を受けて営業損失10百万円（前年同四半期は488百万円の利益）、経常利益65百万円（前年同四半期比88.4%減）となりました。なお、四半期純利益は、子会社を吸収合併したことによる抱合せ株式消滅差益74百万円を計上した事により103百万円（前年同四半期比69.6%減）となりました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の継続的な徹底と工場稼働率維持の両立等を最重要経営課題として認識し、計画的な受注及び収益の確保を目指して参ります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末の30,766百万円から31,215百万円と449百万円増加しました。その主な要因は、現金預金が減少したものの、受取手形・完成工事未収入金、材料貯蔵品及び投資有価証券が増加したことによるものであります。

総負債は、未払法人税等が減少したものの、工事未払金等の増加により、前事業年度末比517百万円増加し5,565百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少により、前事業年度末比67百万円減少し25,650百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の決算予想につきましては、2022年11月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,793,722	3,501,856
受取手形・完成工事未収入金	14,835,493	17,927,692
材料貯蔵品	539,313	949,305
未収入金	16,198	22,522
その他	66,961	58,076
流動資産合計	22,251,688	22,459,453
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,101,787	2,082,289
機械・運搬具(純額)	1,180,296	1,182,787
土地	3,452,674	3,452,674
その他(純額)	47,526	48,609
有形固定資産合計	6,782,283	6,766,360
無形固定資産		
	38,625	36,679
投資その他の資産		
投資有価証券	1,277,068	1,566,757
その他	443,410	413,280
貸倒引当金	△26,498	△26,568
投資その他の資産合計	1,693,980	1,953,469
固定資産合計	8,514,890	8,756,508
資産合計	30,766,578	31,215,962
負債の部		
流動負債		
工事未払金	3,753,852	4,555,062
未払法人税等	306,528	26,112
工事損失引当金	35,169	59,833
賞与引当金	146,498	158,028
その他	521,380	467,661
流動負債合計	4,763,429	5,266,696
固定負債		
退職給付引当金	205,018	208,698
その他	79,520	89,947
固定負債合計	284,539	298,646
負債合計	5,047,968	5,565,343

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	955,491	955,491
資本剰余金	589,380	589,380
利益剰余金	24,077,824	23,949,519
自己株式	△190,408	△190,408
株主資本合計	25,432,286	25,303,982
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	286,322	346,636
評価・換算差額等合計	286,322	346,636
純資産合計	25,718,609	25,650,619
負債純資産合計	30,766,578	31,215,962

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
完成工事高	5,323,891	5,763,937
完成工事原価	4,606,705	5,565,595
完成工事総利益	717,185	198,342
販売費及び一般管理費	228,255	209,071
営業利益又は営業損失(△)	488,930	△10,729
営業外収益		
受取利息	1	1
有価証券利息	—	498
受取配当金	16,816	15,766
不動産賃貸料	19,486	19,240
鉄屑売却益	38,439	36,338
その他	7,806	9,344
営業外収益合計	82,550	81,188
営業外費用		
賃貸費用	2,213	2,216
固定資産解体費用	125	2,051
その他	417	502
営業外費用合計	2,756	4,770
経常利益	568,724	65,689
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	74,713
特別利益合計	—	74,713
税引前四半期純利益	568,724	140,403
法人税等	227,666	36,825
四半期純利益	341,057	103,577

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(完全子会社の吸収合併)

当社は、2022年3月25日開催の取締役会において、当社の完全子会社である川岸工事株式会社を吸収合併することを決議し、2022年10月1日付で実施いたしました。

1. 取引の概要

① 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称 川岸工事株式会社

事業の内容 現場施工

② 合併日(効力発生日)

2022年10月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、川岸工事株式会社を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

川岸工業株式会社

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社と川岸工事株式会社が一体となることで、経営資源の集約及び業務効率化を目的として川岸工事株式会社を吸収合併することといたしました。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。なお、当該取引により、抱合せ株式消滅差益を四半期損益計算書の特別利益として74,713千円を計上しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、今後の当社の業績に与える影響が軽微なものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積もりを行っております。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

3. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

① 受注状況

イ. 受注高

製品別	前第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)			前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		
	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	21,859	7,125,345	88.3	5,628	2,366,325	88.7	90,048	32,225,234	92.5
プレキャスト コンクリート	10,621	945,918	11.7	2,049	301,463	11.3	25,881	2,597,836	7.5
合計	—	8,071,264	100.0	—	2,667,788	100.0	—	34,823,070	100.0

ロ. 受注残高

製品別	前第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)			前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		
	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	50,211	16,890,964	92.6	58,974	22,998,722	91.4	69,902	26,148,734	92.5
プレキャスト コンクリート	15,010	1,349,586	7.4	21,269	2,171,644	8.6	21,172	2,117,780	7.5
合計	—	18,240,550	100.0	—	25,170,366	100.0	—	28,266,514	100.0

② 売上実績

製品別	前第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)			前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		
	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (吨・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	14,917	5,018,182	94.3	15,904	5,516,337	95.7	63,416	20,860,300	94.6
プレキャスト コンクリート	3,523	305,708	5.7	1,952	247,599	4.3	12,620	1,189,433	5.4
合計	—	5,323,891	100.0	—	5,763,937	100.0	—	22,049,733	100.0